



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 三菱食品 株式会社 上場取引所 東
コード番号 7451 URL <https://www.mitsubishi-shokuhin.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 京谷 裕
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 相場 建 TEL 03-4553-5229
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,587,415	4.0	24,094	25.2	25,645	22.8	18,411	30.3
2023年3月期第3四半期	1,525,647	△0.3	19,250	30.4	20,885	31.2	14,132	26.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 20,320百万円(43.6%) 2023年3月期第3四半期 14,149百万円 (58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	423.87	—
2023年3月期第3四半期	324.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	869,152	196,604	22.6	4,525.64
2023年3月期	707,503	182,617	25.8	4,203.59

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 196,582百万円 2023年3月期 182,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	45.00	—	65.00	110.00
2024年3月期	—	80.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,080,000	4.2	29,000	23.8	31,000	23.0	22,000	28.5	506.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	43,537,200株	2023年3月期	43,537,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	99,668株	2023年3月期	99,388株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	43,437,653株	2023年3月期3Q	43,487,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2024年2月5日（月）に当社ホームページにて掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 品別売上高明細表	10
(2) 業態別売上高明細表	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、インバウンドを含む人流は本格的に回復し、国内の社会経済活動も回復が進みました。

一方で、原油価格や原材料価格が高値圏で推移していることや、国内の深刻な労働力不足等を背景としたコストプッシュ型の食品価格の上昇が多品目で継続する等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは、食のサプライチェーンを支えるという使命のもと、より付加価値の高い機能とサービスの提供を図ってまいりました。

具体的には、物流現場の混乱が懸念されている「2024年問題」に対する取り組みとして、トラックの空きスペースを活用したサステナブルな物流サービス「trucXing(トラクシング)」の提供を開始いたしました。

また、株式会社キューソー流通システムと物流事業の一部統合に関わる業務提携を行いました。本取り組みを通じ、今後も需要が見込まれる首都圏エリアの食品を軸に低温物流の強化を図ってまいります。

加えて、本年度から積極的に進めているスタートアップ投資案件の一つとして、米国で海藻を使った菓子や飲料の製造販売を行うフードテック企業であるCashi Cake inc.に出資いたしました。これを契機に「日本食文化の輸出」を通じた海外事業をさらに推進してまいります。

変化が常態化する時代において、生活を支える食品の流通は持続可能でなければならず、それを守ることが当社の責務であると考えております。今後も外部環境のさまざまな変化に合わせて継続的にサプライチェーンの最適化と整流化を推進してまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、本格的な人流回復によって、コンビニエンスストアや業務用取引を中心に全般的に取引が伸長したことにより、1兆5,874億15百万円(前年同期比4.0%増加)となりました。営業利益は取引伸長や採算管理強化による利益率の改善等により240億94百万円(前年同期比25.2%増加)、経常利益は256億45百万円(前年同期比22.8%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は184億11百万円(前年同期比30.3%増加)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、業績管理区分の一部見直しに伴い、報告セグメントの区分方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の報告セグメントの区分に組替えた数値で比較しております。報告セグメントの区分方法の変更の詳細につきましては「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

①加工食品事業

売上高は、コンビニエンスストア、ディスカウントストアとの取引が堅調に推移したことや、記録的な猛暑・残暑で飲料が好調であったこと等により、増加いたしました。利益面につきましては、取引の見直しに伴う採算性の向上等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は5,153億45百万円(前年同期比2.1%増加)、営業利益は61億6百万円(前年同期比21.6%増加)となりました。

②低温食品事業

売上高は、スーパーマーケット、コンビニエンスストアとの取引が伸長したことに加え、業務用商材の復調や猛暑でアイスクリームが好調であったこと等により、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加及び採算性の向上等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は4,714億28百万円(前年同期比6.0%増加)、営業利益は130億32百万円(前年同期比21.8%増加)となりました。

③酒類事業

売上高は、業務用商材の復調やドラッグストア等との取引伸長に加え、猛暑や10月の酒税改正でビールが減税となった影響等により、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は3,850億44百万円(前年同期比2.6%増加)、営業利益は29億2百万円(前年同期比6.4%増加)となりました。

④菓子事業

売上高は、コンビニエンスストアやディスカウントストア等を中心に取引が総じて伸長したことにより、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加及び採算性の向上等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は2,155億96百万円（前年同期比7.4%増加）、営業利益は32億86百万円（前年同期比60.2%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が1,616億48百万円増加、負債が1,476億61百万円増加し、純資産が139億87百万円増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は季節変動等によるものであり、総資産においては、流動資産の受取手形及び売掛金が954億41百万円増加し、負債においては、流動負債の買掛金が1,497億79百万円増加いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	443	376
受取手形及び売掛金	338,022	433,464
商品及び製品	75,812	99,942
原材料及び貯蔵品	1,083	1,120
短期貸付金	71,082	112,021
その他	67,671	74,286
貸倒引当金	△275	△285
流動資産合計	553,839	720,926
固定資産		
有形固定資産	83,069	81,207
無形固定資産		
のれん	2,150	1,867
その他	15,756	14,617
無形固定資産合計	17,906	16,485
投資その他の資産		
投資有価証券	28,515	30,458
その他	24,264	20,170
貸倒引当金	△92	△96
投資その他の資産合計	52,687	50,532
固定資産合計	153,663	148,225
資産合計	707,503	869,152
負債の部		
流動負債		
買掛金	421,898	571,677
引当金	3,565	338
その他	67,966	69,127
流動負債合計	493,430	641,143
固定負債		
退職給付に係る負債	11,381	11,391
引当金	79	4
資産除去債務	11,014	11,023
その他	8,980	8,984
固定負債合計	31,456	31,404
負債合計	524,886	672,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	10,117	10,117
利益剰余金	153,792	165,891
自己株式	△339	△340
株主資本合計	174,201	186,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,923	9,845
繰延ヘッジ損益	△6	△31
為替換算調整勘定	100	184
退職給付に係る調整累計額	376	284
その他の包括利益累計額合計	8,393	10,283
非支配株主持分	22	21
純資産合計	182,617	196,604
負債純資産合計	707,503	869,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,525,647	1,587,415
売上原価	1,414,164	1,473,798
売上総利益	111,482	113,617
販売費及び一般管理費	92,231	89,523
営業利益	19,250	24,094
営業外収益		
受取利息	47	37
受取配当金	648	704
不動産賃貸料	1,038	1,183
その他	1,146	1,062
営業外収益合計	2,880	2,987
営業外費用		
支払利息	114	105
不動産賃貸費用	929	1,048
その他	202	283
営業外費用合計	1,246	1,436
経常利益	20,885	25,645
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,142
投資有価証券清算益	2	—
ゴルフ会員権売却益	1	—
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	3	1,142
特別損失		
投資有価証券評価損	—	239
投資有価証券売却損	0	0
子会社株式売却損	22	—
減損損失	76	86
特別損失合計	98	325
税金等調整前四半期純利益	20,790	26,461
法人税、住民税及び事業税	5,270	6,863
法人税等調整額	1,370	1,167
法人税等合計	6,640	8,031
四半期純利益	14,149	18,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,132	18,411

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	14,149	18,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	197	1,922
繰延ヘッジ損益	△170	△25
為替換算調整勘定	38	8
退職給付に係る調整額	3	△91
持分法適用会社に対する持分相当額	△68	75
その他の包括利益合計	0	1,889
四半期包括利益	14,149	20,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,132	20,301
非支配株主に係る四半期包括利益	17	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役等に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2022年6月27日開催の定時株主総会決議に基づき、当社の取締役及び執行役員（社外取締役、非常勤取締役、受入出向者及び国内非居住者を除き、以下「取締役等」という。）を対象に、当社の中長期的な企業価値向上への貢献意識を高め、株主をはじめとしたあらゆるステークホルダーの皆様との意識・利害を共有することを目的として、業績連動型の株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入しております。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

1. 取引の概要

役員報酬B I P（Board Incentive Plan）信託と称される仕組みを採用し、原則として、当社が掲げる中期経営計画に対応する事業年度を対象期間として、職位及び業績目標の達成度等に応じて、当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を取締役等に交付又は給付します。

2. 信託に残存する自社の株式

役員報酬B I P信託に残存する当社株式を、当該信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末337百万円、98,900株、当第3四半期連結会計期間末337百万円、98,900株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	504,857	444,744	375,238	200,806	1,525,647	-	1,525,647
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	504,857	444,744	375,238	200,806	1,525,647	-	1,525,647
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,554	8	91	1	2,655	△2,655	-
計	507,411	444,753	375,329	200,808	1,528,302	△2,655	1,525,647
セグメント利益	5,021	10,698	2,727	2,051	20,499	△1,248	19,250

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,499
のれんの償却額	△223
全社費用	△1,024
四半期連結損益計算書の営業利益	19,250

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	515,345	471,428	385,044	215,596	1,587,415	-	1,587,415
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	515,345	471,428	385,044	215,596	1,587,415	-	1,587,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,144	512	110	2	1,769	△1,769	-
計	516,490	471,940	385,155	215,598	1,589,185	△1,769	1,587,415
セグメント利益	6,106	13,032	2,902	3,286	25,328	△1,233	24,094

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	25,328
のれんの償却額	△223
全社費用	△1,010
四半期連結損益計算書の営業利益	24,094

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「その他」に区分していた物流事業等について、「加工食品事業」、「低温食品事業」、「酒類事業」、「菓子事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(百万円未満切捨)

品種	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
缶詰・調味料類	182,318	12.0	183,537	11.5	239,176	12.0
麺・乾物類	107,559	7.0	111,704	7.0	142,552	7.1
嗜好品・飲料類	171,724	11.3	174,266	11.0	221,183	11.1
菓子類	199,850	13.1	213,711	13.5	271,944	13.6
冷凍・チルド食品類	366,183	24.0	387,768	24.4	477,327	23.9
ビール類	198,617	13.0	202,787	12.8	253,176	12.7
その他酒類	159,169	10.4	164,715	10.4	208,127	10.4
その他	140,222	9.2	148,925	9.4	183,290	9.2
合計	1,525,647	100.0	1,587,415	100.0	1,996,780	100.0

(2) 業態別売上高明細表

(百万円未満切捨)

業態	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
卸売	151,294	9.9	162,232	10.2	197,661	9.9
SM	717,491	47.0	725,282	45.7	936,097	46.9
CVS	282,202	18.5	297,045	18.7	370,242	18.6
ドラッグストア	127,178	8.4	131,070	8.3	166,691	8.3
ユーザー	31,819	2.1	37,619	2.4	42,686	2.1
その他直販	176,932	11.6	192,813	12.1	231,665	11.6
(直販計)	1,335,624	87.6	1,383,831	87.2	1,747,383	87.5
メーカー・他	38,727	2.5	41,351	2.6	51,735	2.6
合計	1,525,647	100.0	1,587,415	100.0	1,996,780	100.0

(注) 1. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。

2. その他直販はディスカウントストア・EC事業者・ホームセンター・百貨店等であります。

※第1四半期連結会計期間より業態区分の一部見直しに伴い、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の業態別売上高は、変更後の業態区分により作成したものを記載しております。